

# 明星大学人間社会学科創設50周年を迎えて

## 元 治 恵 子

この度、明星大学人文学部人間社会学科は、人文学部社会学科として開設以来50周年を迎えることができました。これまで、学科に対しご協力、ご尽力いただいた皆様のおかげと感謝申し上げます。人間で言うと、ちょうど「天命」を知る、すなわち、自らの運命・宿命を知る年齢となったわけです。大学を取り巻く環境は、学科開設当時と比べて大きく変化しております。大学進学率の上昇とともに、学生の質や学生の大学教育に対するニーズも変化しています。人間社会学科、そして、そこで働く教員に与えられた「使命」とは何でしょうか。

2014年度より新しいカリキュラムがスタート致しました。(1)現実の社会的な問題に関心をもつ人、(2)自分の考えをもちたいと考えている人、(3)自分の考えを他者に伝えることに関心をもつ人、(4)他者と協働して問題に取り組みたいと考えている人、(5)多様な他者に関心をもつ人、(6)物事について論理的に考えようとする人、(7)社会調査の方法に関心をもつ人、(8)社会的事象を分析してみたいと考える人、(9)人生について真摯に考えようとする人に人間社会学科で学んでほしいというアドミッションポリシーを掲げております。そして、そのような資質をもった学生に対し、人間社会学科での学びを経て「市民社会において主体的に物事に関心を持

ち、多様な他者の存在を受け入れつつ、論理的かつ複眼的な視点から問題を解明する社会学的な視点を身に付け、不断に自分の人生をデザインできる人」に育ってほしいと考えております。

新カリキュラムスタート以前から続いている、(1)1年生を対象とし、社会で活動する多様な人々に会い、お話をうかがう『フィールドトリップ』や『大学周辺まち歩き』、(2)「社会を考察する」目を持った「自立した市民」育成のためのさまざまな体験学習（沖縄、福島、新島、宮城などでの調査や高幡団地、調布などでの地域の人々との活動<sup>i</sup>）などを通して、一歩ずつではありますが、学生たちの成長を感じております。最初は、教員主導であったさまざまな活動でしたが、2015年度には、学生たち（2年生有志）自らが企画・実施した『フレッシュマンキャンプ』がスタート致しました。参加した学生、教員ともに充実した時間を過ごし、大成功に終わりました。今後、学生たちを中心に、人間社会学科の新たな歴史が刻まれていくことでしょう。

今後、更なる発展に向けて、教職員一同全力を尽くしていく所存です。今後とも、皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

（げんじ けいこ、本学科主任・教授）

i 詳細は、『ニュースレター JIN-SHA Yell』各号をご覧ください。